

低入札価格調査の実施概要

宇都宮国道事務所

工 事 名 : 矢板バイパス標識設置工事
 調査を実施した業者名、住所 : 吉栄工業(株)、栃木県下野市柴1041-2

項目	内 容
1. その価格により入札した理由	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎杭工以外は全て自社の作業員により作業を行うことで、労務費を抑えることができる。 ・現在の手持ち工事(交通安全施設)2件とも10月末で完了のため、11月以降の公安工事を確保したかった。 ・当社事務所及び倉庫は栃木県下野市にあり、当該工事現場まで約40kmであり、通常の通勤が可能 ・当該工事に使用する機械は自社で全て所有しており、機械リースを安価に出来る。 ・下請け予定会社及び資材購入先とは永年のと利引きがあり契約額をおさえることができた。 ・一般管理費は、役員報酬、従業員給料手当、法定福利費、福利厚生費等を削減。 ・現場管理費は、労務管理費、従業員給料手当、安全訓練に要する費用を削減。 <p>結果、低入札となりましたが、当社と致しましては、工事の品質確保及び安全の確保を十分に行い良好な施工行います。</p>
2. 契約対象工事附近における手持工事の状況	なし
3. 契約対象工事に関連する手持工事の状況	<p>道路案内標識修正工事 発注者: 栃木県 工期H20.8.6~H20.10.14 ¥5,586,000.-</p> <p>道路標識工事 発注者: 栃木県警 工期H20.8.4~H20.10.27 ¥8,904,000.-</p>
4. 契約対象工事箇所と入札者の事業所、倉庫等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・対象工事箇所: 自) 栃木県さくら市馬場 至) 栃木県矢板市乙畑(4号矢板バイパス) ・入札者所在地: 栃木県下野市柴1041-2 現場まで40km 所要時間 自動車で1時間弱
5. 手持資材の状況	<p>本工事での使用予定数量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・砕石 ・鉄筋 <p>当該工事において支障なし</p>
6. 資材購入先及び購入先と入札者の関係	<p>標識板、標識柱(F型) 1式 :A社</p> <p>標識柱(路側) 1式 :B社</p> <p>H鋼杭 1基 :C社</p> <p>生コンクリート 120m³ :D社</p> <p>砕石 15m³ :E社</p> <p>鉄筋 2t :F社</p> <p>アスファルト合材 1.5t :G社</p>
7. 手持機械の状況	<p>2tダンプ</p> <p>4tダンプ</p> <p>3tユニック</p> <p>高所作業車</p> <p>油圧ショベル</p> <p>4tロー 1台</p> <p>当該工事において支障なし</p>
8. 労働者の具体的供給見通し	<p>土工 世話役及び普通作業員 延べ290人(自社職員)</p> <p>羽根基礎工 特殊作業員 6人、普通作業員6人 H社(下請会社)</p> <p>交通整理員 資格者5人、無資格5人 I社(下請会社)</p>
9. 過去に施工した公共工事名及び発注者	<ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮国道事務所 東野田標識設置工事 H14.1~H14.6 ¥16,380,000.- ・宇都宮国道事務所 薬師寺防護柵設置工事 H15.11~H16.3 ¥22,365,000.- ・下館河川事務所 氏家管内維持工事 H16.4~H17.3 ¥19,950,000.- ・宇都宮国道事務所 足利地区防護柵設置工事 H17.3~H17.11 55,755,000.- ・宇都宮国道事務所 管内防護柵復旧工事 H17.6~H17.12 7,350,000.- ・その他、栃木県、栃木県警、下野市、自治医大周辺下水道組合、都市再生機構発注工事
10. 経営内容	特に問題なし

11. 1から10までの事情聴取した結果についての調査検討	<ul style="list-style-type: none"> ・関東地方建設局発注工事についての手持ち工事はない。 ・材料費及び下請け(日本土工及び交通整理員)の見積金額については、確実に積算内訳(様式-2)に積み上げられている。 ・羽根基礎の下請け(日本土工)以外の労務費は自社社員により施工するため、労務費を抑えられる。 ・下請け分を除く機材についても、自社保有の機械にて十分施工できるものである。 ・現場管理費及び一般管理費については、内訳書より、施工上計上すべき費用は積み上げられており、計上していない経費については会社経費及び自社努力で削減できる範囲と判断できる。 <p>現場管理費で安全訓練に要する費用を削減とあるが、手持ちの資料やビデオ等を使うことにより新たに購入しないためであり、安全訓練を怠るものではないものと思慮される。</p>
12. 9の公共工事の成績状況	平成15年度以降に完了した直轄工事が4件あり、その平均点は73.5点である。
13. 経営状況	不開示
14. 信用状態	支障なし
15. その他の必要な事項	特になし。

総 合 評 価
<p>予定価格(税抜き)51,700千円に対し、38,800千円の入札がなされ、官積算額の75.05%となっている。調査の結果、価格差が生じた原因は、現場管理費及び一般管理費のうち、当該工事のみに関わる経費を積み上げ、その他経費は、会社経費で賄ったためである。</p> <p>純工事費87.61%(直接工事費87.7%及び共通仮設費86.12%)については、永年取引のある下請け会社及び購入先の協力や自社社員で施工するなどの努力の結果であり、通常の値引き範囲と判断できる。</p> <p>施工全般に関しては、一級土木施工管理技士を配置し、労務者及び資機材の確保も問題ないと判断できる。</p> <p>以上により、契約内容による適合した施工は可能であると判断できる。</p>